

別紙2

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 8年 1月 9日

| | |
|-----------------------------|--|
| 協議会名: | 旭川市地域公共交通会議 |
| 評価対象事業名: | 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金 |
| 地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性) | 旭川市は北海道のほぼ中央に位置し、面積は約748km ² 、人口は2025年4月1日時点で314,101人である。人口は2000年より減少に転じ、それに伴い市内路線バスの乗車人員も減少の一途をたどっている。一方、市街化区域外では高齢化が進み、「生活の足」としての公共交通の役割は、今後更に重要性が増すことが予測される。そのため、JRや基幹的バス路線と、これに接続するフィーダー系統(デマンド交通など)を組み合わせることで、公共交通を維持、確保することを目指す生活交通ネットワークの構築を進めているところである。 |